

2024 年度 授業計画(シラバス)							
学 科		人工知能学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	実習
科 目 名		コンピュータベーシック実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		1年		学期及び曜時限	前期	教室名	2階 PCルーム
担 当 教 員		BSC	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》							
この授業では、学生がコンピュータ自体の操作の習熟をはかることはもちろん、ソフトウェア間の連携、コンピュータネットワーク環境の適切な利用ができることに重点を置いて実施する。これにより、在学中ならびに卒業後の情報処理スキルの向上を図る。							
《成績評価の方法と基準》							
出席(20%)、平常点(10%)、課題・小テスト点(70%)							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
イーラーニングテキスト 対面授業、オンライン(ライブ)、オンデマンドの3つの授業形態(ハイフレックス型授業)で、テキストや動画を見ながら学生が独学できるようデザインされた教材です。講義は基礎分野と応用分野に分類されています。							
《授業外における学習方法》							
自宅等にインターネットにつながったPCがあれば、イーラーニングで自習できます。 欠席した場合は次の週までに課題を済ませて下さい。							
《履修に当たっての留意点》							
出席することが一番重要ですので、欠席しないように受講してください。							
授業の方法			内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	PCの基本操作ができる			CCT入門 IT・DXリテラシー	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	ファイルの管理、クラウド、ウィンドウ操作、マウス操作、タイピングの基礎				
第2回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	講座を受講する意義を理解し、IT・DXリテラシーを知り、情報を正しく活用できる			CCT入門 PC基本操作	タイピング練習をすることで予習復習を行う。
		各コマにおける授業予定	CCT講座を受講する意義、IT・DXリテラシーを学ぶ、IT・DXリテラシー理解度テストの実施				
第3回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	コンピュータシステム関連について理解できる(1)			コンピュータシステム関連1	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	コンピュータの種類/コンピュータの情報表現/進数変換/五大装置と機能/周辺装置				
第4回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	コンピュータシステム関連について理解できる(2)			コンピュータシステム関連2	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	OSとは/OSの機能/ネットワークの基礎/インターネットの仕組み/ファイルの種類と保存形式				
第5回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	検索力を身につけ、正しい情報かどうか判断できる			CCT入門 検索力	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	Web検索力、PCスキルに関するアンケート				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	Webコミュニケーションについて正しく理解できる	情報倫理 (入門)	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	Webコミュニケーションの危険と対策、モバイル機器の活用と管理		
第7回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	文書作成の基本的な操作ができる	Wordダイジェスト	イーラーニングテキストで講義の内容を確認することができます。
		各コマにおける授業予定	文書作成の基本的な流れ/ページ設定/文字の書式設定/図形・画像などの挿入/表の作成/ページ罫線		
第8回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	スライド作成の基本的な操作ができる	PowerPointダイジェスト	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーションの作成手順/テーマとバリエーション/スライド/プレースホルダー/画像の挿入/テキストボックス/図形作成/ワードアート/画面切り替え効果の設定/アニメーション効果/ノートの作成/スライドショー		
第9回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	企業や施設が求める表計算ソフトの操作ができる	Excel基礎1 基本操作	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	オートフィル/数式の作成/SUM関数/グラフ作成/印刷		
第10回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	関数を駆使した資料を作成できる	Excel基礎2 数式と関数基礎	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	割合を求める/相対参照と絶対参照/AVERAGE関数/COUNTIF関数/シートの操作		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	グラフを駆使した資料を作成できる	Excel基礎3 グラフ基礎	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	目的に応じたグラフ作成/グラフのレイアウト/行や列の挿入/グラフの編集		
第12回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	データベース機能を理解し活用できる	Excel応用A データベース	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	データベースとは/データを並べ替える/フィルター/ウィンドウ枠の固定/大きな表を効率よく印刷する		
第13回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	データの特徴を数値化できる（平均、分散、標準偏差）	初級データサイエンス(統計編)1	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	平均と分散の意味と求め方/標準偏差の意味と求め方		
第14回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	データの特徴を視覚化できる1（基本統計量を求める、ヒストグラムの作成）	初級データサイエンス(統計編)2	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	分析ツールの使用/基本統計量の算出/度数分布表(ヒストグラム)の作成/標準偏差のグラフ図示		
第15回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	データの特徴を視覚化できる2（散布図、相関係数を求める）	初級データサイエンス(統計編)3	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	散布図を作成し、相関関係の有無を視覚的に表す/相関係数の算出		